

岐阜県立恵那特別支援学校で防災講座を行いました

令和8年9月16日（水）、岐阜県立恵那特別支援学校で中学部約30名・高等部約50名に防災講座を行いました。当日は学校の裏山が崩れたことを想定した避難訓練や起震車体験などが行われる「防災学習の日」でした。この学校での講座は令和5年から実施しており、今年で4回目です。

中学部の講座では、浸水疑似体験映像や土砂災害の映像で災害の怖さを感じて頂きました。また、ペットボトルで竜巻・雲をつくる実験や高潮の実験では、興味津々な様子で積極的に参加していました。

高等部の講座では、ハザードマップで自宅のリスクを確認し、VRで浸水を疑似体験しました。VR体験後には「リアルで怖かった」「避難が遅れるとVRのようになって危ないと分かったので、早く避難したい」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

